

[掲載紙] 朝日新聞「上州経済風信」

[掲載日] 2015年7月18日

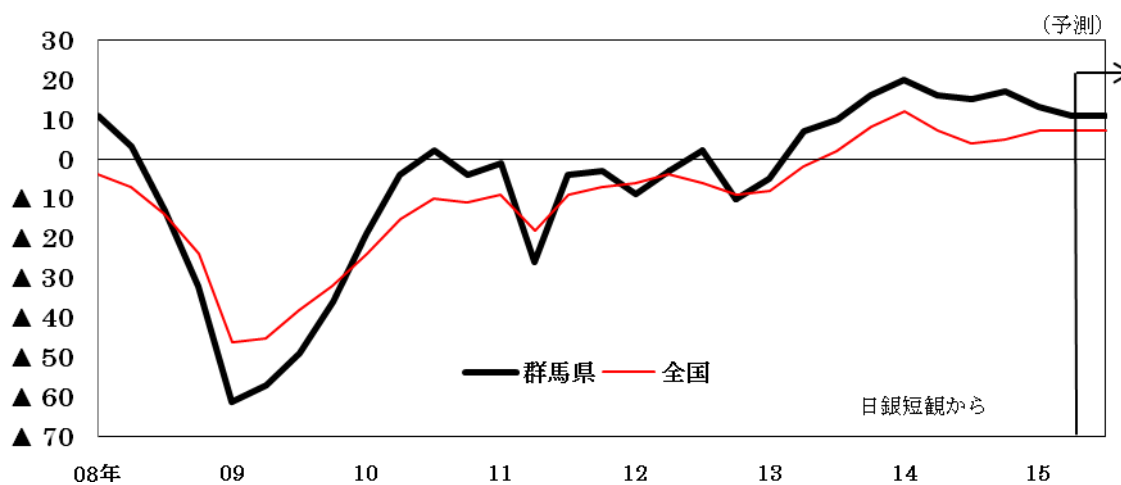
[テーマ] 日銀支店長会議—企業と金融の関係良好—

日銀前橋支店長の命を受けてから1カ月半。初めての「支店長会議」に出席した。

全国32支店の支店長は、各地域の経済金融動向などについて報告するため、四半期ごとに、東京・日本橋の本店に集まる。日銀が全国で約1万社の企業を対象に実施している「全国企業短期経済観測調査（短観）」も四半期ごとだ。

短観と支店長会議の後に開催される1、4、7、10月の金融政策決定会合で、政策委員9人による経済・物価見通しが公表される。なお、短観が始まったのは1957年。支店長会議が始まったのはそれよりもさらに前だ。

### 全国と群馬県の業況判断の推移



群馬県は製造業、とくに輸送用機械のウェイトが高いのが特徴であるが、バラエティーあふれる産業構造であり、議論の材料に事欠かない。会議では、企業や金融機関の方々から伺ったお話をもとに、足もと、海外経済など気にかかる点は少なくないけれども、景気の基調はしっかりしていると、群馬県経済の良好さをアピールしてきた。

全国対比でみて、県内企業の景況感が高いだけでなく、企業と金融機関の二人三脚の関係が良好であることを確認できたのは、私自身の収穫だった。

会議で多くの支店長が口にしたのは、「インバウンド消費（訪日外国人の消費）の拡大」と「雇用・所得環境の改善ないし資産効果を背景とした節約志向の弱まり」の2点だ。これらについて県内で明るい声が聞けることを期待したい。

会議の日程を全て終えた夜は、会議メンバーに、本店各部署の幹部も加わっての懇談。ビールのグラスを片手に、各支店長の持ち場の「お国自慢」のスタートだ。私はこの場に備え、うちわやシールなどあまりお金がかからない、もしくは無料の群馬県グッズを大量に用意した。前橋商工会議所の方からお預かりした広報誌も持ち込んでいた。

持ち込み過ぎたかなと思ったが、心配無用だった。特にぐんまちゃんのグッズは大人気で、あっという間に「売り切れ」た。他支店の支店長を経験している女性幹部からは、私が上着に付けていたぐんまちゃんのピンバッジを求められた。群馬県の宣伝を手伝ってくれるならと、泣く泣くお譲りした。

さて、次回の支店長会議まであと3カ月。今日からまた群馬県の「宣材」をしっかりと集めていこうと思う。

（ 日本銀行前橋支店長  
                                神山 一成 ）